

当行は、創業のころ“親切で新しい”を大切に、「地域社会との共生」を目指して、いろいろな施策に取組み“地域貢献”“社会貢献”に努めております。

第9回<池銀>ニュービジネス助成金
“地域起こし大賞”など決定

新規性・独創性のあるビジネスプランを有する企業や起業家を応援する「<池銀>ニュービジネス助成金」は、平成15年の創設以来、応募累計が878件にものぼりました。当助成金制度が、京阪神の企業や起業家に広く認知され、地域起こし策の一環として根づいてきていると感じております。

9回目となりました平成20年度公募分も、IT・情報通信、ナノテク・製造技術、エコ・環境・バイオ、医療・福祉などの幅広い分野から156プランのご応募がありました。

審査は、大阪大学、神戸大学、関西学院大学や独立行政法人産業技術総合研究所、三菱商事をはじめとする産学官連携の「ニュービジネス目利き委員会」によって行われました。

その結果、“地域起こし大賞(300万円)”1プラン、“優秀賞(100万円)”3プラン、“奨励賞(50万円)”8プランが選出され、平成20年10月16日“マイドームおおさか”での



「第9回<池田銀行>TOYORO ビジネスマッチングフェア2008」の会場において、授賞式を執り行いました。

これにより、今回までの表彰プランの総数は92件、助成金の総額は6,000万円を超える規模になりました。

産学官連携に総額3,000万円を支給
<池銀>コンソーシアム研究開発助成金

「<池銀>コンソーシアム研究開発助成金」は、産学官連携により早期に商品化・事業化を目指す技術シーズや開発構想を持つ企業・事業者から、大学・公設研究機関等との共同研究・委託研究等のプランを公募し、年間総額3,000万円(1件最大300万円)の助成金を贈呈するものです。

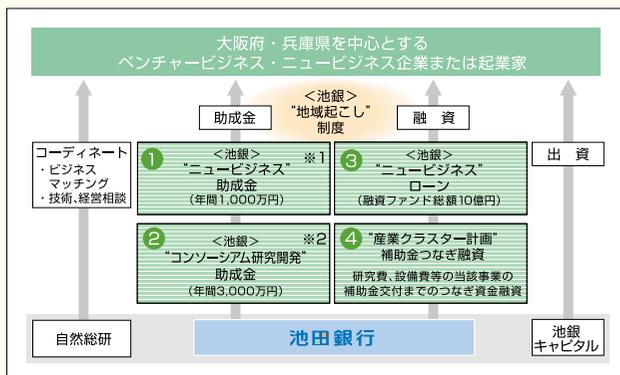
5回目となる平成20年度分は、平成20年12月に応募を締切り、独立行政法人中小企業基盤整備機構近畿支部 中小企業・ベンチャー総合支援センター、大阪中小企業投資育成株式会社等による「評価委員会」が審査中で、採択プランの決定は平成21年4月の予定です。

平成16年の創設以来、ご応募いただいたプランの累計は181件、採択数は56プランとなり、おおくりした助成金総額は1億2,000万円を超えました。

今回の助成プラン先には、今後も「<池銀>ニュービジネスローン」や「池銀キャピタルによる投資」など、池田銀行グループの“ニュービジネス総合応援制度”を活用してサポートを行い、「事業の多角化」や「第二の創業」を積極的に応援してまいります。



池田銀行グループの「ニュービジネス総合応援制度」の概要



- ※1<ニュービジネス目利き委員会>
- 大阪大学
 - 神戸大学
 - 関西学院大学
 - 産業技術総合研究所
 - 三菱商事
 - ベンチャー支援機関
 - 当行、自然総研などによる評価、審査
- ※2<評価委員会>
- 中小企業基盤整備機構近畿支部
 - 中小企業・ベンチャー総合支援センター
 - 大阪中小企業投資育成株式会社
 - 当行、自然総研などによる評価、審査



地域経済活性化を目指す 「ビジネスマッチングフェア」も9回目

ビジネスマッチング事業の一環として、毎年開催しております「ビジネスマッチングフェア」は、おかげさまで大変ご好評をいただいております。

平成20年も10月16・17日の両日、“マイドームおおさか”において「第9回〈池田銀行〉TOYROビジネスマッチングフェア2008」を開催いたしました。

今回は、『日本のちから、関西の技術』をメインテーマに、地域起こしの原動力となる企業と近畿経済産業局などの公的機関、最先端の技術・知見を誇る大学、研究機関に出展いただきました。

中小企業の高度な「ものづくり技術」は、産業の基盤を支える重要な役割を果たしております。特に関西には、川上から川下まで、国内、世界のトップレベルの多くの技術が存在しており、これら関西の『匠』が一堂に会しました。さらに、前回の特別展示「池田3大発明」に続き、今回は独立行政法人産業技術総合研究所関西センター（産総研）のご協力により、メインテーマを象徴する『産総研 関西発 3大発明』を特別展示。わが国のみならず世界に新市場を創造し、産業界に大きなインパクトをもたらした関西生まれの基盤技術をご紹介いただきました。

これからも、地元企業の皆さまのお役に立てますよう、

コーディネーターとして、“ベストマッチング”を目指して努力してまいります。



新たなビジネスの創造をお手伝い 第5回「〈池銀〉ビジネス交流会」開催



平成20年4月、地元企業のさらなる発展のため、“新たなビジネスの創造”のお役に立つことを願い、第5回「〈池銀〉ビジネス交流会」を開催いたしました。地元企業・公的機関・ベンチャー育成機関・地元大学の方々など大勢のご参加をいただき、産学官連携による本格的な「ビジネス交流会」となりました。

第1部として「中国・蘇州市吳中区企業誘致セミナー」を開催、中国進出を目指す企業にお役に立つ情報をご提供いたしました。また第2部では、リチャード・クー氏（野村総合研究所 主席研究員）による「内外から見た日本経済」と題した講演会を開催いたしました。サブプライムローン問題を始め世界経済が抱えるさまざまな問題点、バランスシート不況を脱しかけた日本の課題など、大変有意義なお話をいただきました。第3部は懇親会形式による情報交流の場とし、異業種交流、産学官の交流など大変活発な情報交換が行われました。今後も“新たなビジネスパートナーとの出会い”や“お役に立つ情報収集の場”をご提供してまいります。

蘇州駐在員事務所開設2周年 現地にて「記念講演会」開催

平成18年9月、中国・蘇州市に、日本の地方銀行では初めての「蘇州駐在員事務所」を開設いたしました。

蘇州市は近年、経済産業都市としての発展がめざましく、大規模な工業団地の整備も進められており、当行のお取引先も数多く進出されております。



平成19年9月には、開設1周年を記念して、頭取の服部盛隆を団長に、お取引先企業の経営者の方々による「中国経済ミッション」が、上海・蘇州を視察しました。

開設2周年となる平成20年9月には、現地にて三菱商事上海の陳薇薇部長を講師にお迎えし、「記念講演会」を開催いたしました。

講演会後の交流会では、地元蘇州市人民政府関係者や、現地日系企業の皆さまなど130名ものご参加をいただき、活発な異業種交流が行われました。

これからも地元政府や進出している日系企業の方々とのネットワークを充実させるとともに、お取引先の中国進出支援や中国貿易・金融等に関する情報のご提供に努め、中国ビジネスの「チャイナゲート」として、より一層お役に立ってまいります。



同志社大学発のベンチャーも応援 産学連携への取組を強化



「KGビジネスプランコンテスト」
入賞の皆さま

大学発のベンチャービジネスを育成していくことを目的として、地域の大学等との連携を強化しております。



大阪府立大学・大阪市立大学と当行の三者による「産学連携基本協定」調印式

これまで大阪大学の「阪大イノベーションファンド」、大阪中小企業投資育成株式会社の「近畿産学連携ファンド」や「大阪投資育成ファンド」、そして京都大学の「京大ベンチャーファンド」等に出資してまいりました。

また、関西学院大学・甲南大学・同志社大学に続き、平成20年5月には、大阪府立大学・大阪市立大学と「産学連携基本協定」を締結いたしました。さらに平成20年10月には同志社大学の「同志社ベンチャーファンド」にも出資、同志社大学発のベンチャービジネスを育成すると共に、同大学とのネットワークの拡充にも取り組んでおります。

毎年11月には提携先の関西学院大学の「KGビジネスプランコンテスト」も共催しております。これは、関西学院グループの大学生・高校生・中学生や提携校の学生から寄せられた「新規事業への提案や起業のアイデア」を競うコンテストで、若い方々の発想から、新しいビジネスが生まれることを願っております。

これからも地域の他の大学との連携を積極的に進め、大学発の企業・起業家に対する事業サポートについても幅広く展開してまいります。

「ベンチャー2008KANSAI」に協賛
〈池銀〉エンカレッジフォーラム開催!

当行は、地元関西の“仕事の創造”と“対外競争力の向上”をめざし、「ビジネスマッチングフェア」の開催や「地域起こし制度」を創設する等、研究開発型事業やニュービジネスを応援しております。

その一環として、新しい企業・産業の創出を通じた関西経済の活力回復、アジア諸国・地域との経済交流の促進を目的に開催されている“ベンチャーKANSAI”に平成15年から毎年協賛、平成20年も11月に「〈池銀〉エンカレッジフォーラム～地域起こし～」を開催いたしました。

第1部は、奥野史子氏(スポーツコメンテーター)をゲストに迎えての『「昇華・夜叉の舞」発想の転換からの勝利』と題したトークショー。第2部は野口悠紀雄氏(早稲田大学大学院ファイナンス研究科教授)に『日本の経済のゆくえ』と題して講演をお願いいたしました。

これからも、地域における中小企業・ベンチャー企業を応援するイベントなどを積極的に開催してまいります。



「環境問題への対応」や「公会計」など
お役に立つ実務セミナーを次々開催



関西経済圏の広域中核拠点「梅田」に、平成19年2月竣工いたしました「大阪梅田池銀ビル」。ここから、京阪神のお客さまに価値ある新鮮な情報をすばやく発信するよう心がけております。

平成20年7月には、環境問題対応への具体的な手法として注目される「製品グリーンパフォーマンス高度化推進手法」と「マテリアル・フロー・コスト会計手法」に関するセミナーを開催いたしました。主催はNPO法人資源リサイクルシステムセンターで、近畿経済産業局と当行が後援いたしました。梅田靖氏(大阪大学大学院工学研究科教授)による基調講演、主催者による2つの手法説明、さらには実際にその手法を導入している企業による実例などが紹介されました。

また、日本政策投資銀行関西支店後援のもと、清水涼子氏(関西大学大学院会計研究科教授)をお招きし、「公会計の基本的な考え方」と題したセミナーを開催いたしました。国および地方自治体における公会計改革が急ピッチで進められている状況を踏まえ、地元自治体のご担当者を対象として企画されたものです。

今後とも、セミナーを含めた様々な活動を通じて地元のお客さまのお役に立つ情報を発信してまいります。